

賀 茂 地 区

- 1 研修会回数 年間4回実施（他に支部ごと5～6回実施）
- 2 研修テーマ 感じようこころと体 めざそう健やかな生活

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
1	4月 地区研修重点目標の決定 保健室から発信する学校保健活動「広げる」	賀茂教育研究会	* ¹ 講演会講師 山梨大学 准教授 松下 浩之 氏
2	6月 代表者会報告、執務上の問題点について	賀茂地区学校保健会	
3	11月 講習会* ¹ 「小中学校における「発達障害」の多様な状態像の理解と支援」	賀茂教育研究会	
4	3月 代表者会報告、各支部研修報告、活動反省	賀茂教育研究会	

3 研修の様子

昨年度より、研修目標と重点目標を地区全体で統一した。年に3回全員で行う研修会は、賀茂地区全体で導入された校務支援ソフトの活用方法の情報交換や各支部の様子を知る貴重な機会となっている。今年度も支部ごとの研修は継続するため、様々な視点から目標達成の手だてを考えていきたい。講習会では山梨大学の松下准教授を講師として迎え、児童生徒の発達障害の支援方法について研修を行う予定である。

田 方 地 区

- 1 研修会回数 年間4回実施（他に市町ごと5回実施）
- 2 研修テーマ 子どもの心と体を見つめ、成長を支える連携

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
1	5月 年間研修計画・各係から	田方地区教育研究会	* ¹ 遠州病院小児科 白井 博美 氏
2	6月 学校保健会総会・講演会* ¹ 7月 保健主事合同研修会* ² 校種別研修・地区別研修		
3	11月 全体研修・地区別研修	田方地区学校保健会	* ² 健康運動指導士 内藤ルミ子 氏
4	3月 研修まとめ・活動反省		

3 研修の様子

地区全体の研修会は昨年度より1回減り4回になった。7月には校種別研修も予定している。毎回各グループからの発表・分かち合いの時間をとり、情報共有をして「連携」への意欲につなげている。

東 豆 地 区

- 1 研修会回数 年間3回実施（他に市ごとでは、他に年10回程度開催）
- 2 研修テーマ 熱海「研究的視点を学び、子供たちの健やかな成長に還元する」
伊東「繋がりの中でしなやかに成長する子」
～9年間を見通した系統的な健康教育の実践～

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
1	6月 第1回研修会 代表者会報告・情報交換	東豆学校保健研究会	
2	11月 第2回研修会 代表者会報告・情報交換 テーマ別事例検討		
3	3月 第3回研修会 代表者会報告・地区情報交換		

3 研修の様子

各市の取組についての研修報告を年2回、個別参加の研修報告を年1回行っている。伊東・熱海地区の教育研究会の合併や、学校数の減少が見込まれることを踏まえ、今後、研修について検討していく必要がある。

三 島 地 区

- 1 研修会回数 年間 9 回実施
- 2 研修テーマ 性に関する指導

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
1	4 月 研修計画・研修内容の検討	三島市教育委員会 三島市教育研究会	* ¹ 8 月講演 川野小児医学財団 あいち小児保健医療総合センター総合診療科 医師 森重 智 氏 ココカラウィメンズクリニック 院長 伊藤加奈子 氏 * ² 10 月講演 NPO法人リプロダクティブヘルズ研究会 助産師 小長谷好江 氏
2	6・7・11・1 月 全体研修・グループ研修		
3	7 月 啓発紙「生きる」検討		
4	8 月 講演「包括的性教育」* ¹ グループ研修		
5	10 月 講演「思春期の子供に寄り添った性に関する指導・健康相談」* ²		
6	2 月 今年度の成果と次年度に向けての課題		

3 研修の様子

令和 6 年度より 3 年計画で、市内共通で小学校から系統的に行うことができる性に関する指導の資料や教材の作成を進めている。昨年度は、実施学年と指導内容の一覧表を作成した。今年度は、発達段階ごとのグループに分かれて、各学年の特性に合わせた指導案の作成や教材研究を行っている。

駿 東 地 区

- 1 研修会回数 年間 6 回実施
- 2 研修テーマ 駿東全体の研修会と、支部それぞれの健康課題等に応じた研修を進めている。

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
1	6 月 第 1 回学校保健研修会	駿東地区教育協会 駿東地区学校保健会	* ¹ 新美歯科オーラルケア 新美 寿英 氏 * ² NPO法人アサーティブジャパン認定講師 谷澤久美子 氏 * ³ 神奈川県立保健福祉大学准教授 高橋佐和子 氏 * ⁴ 愛知大学文学部人文社会学科教授 松尾由希子 氏
2	6 月 学校保健代議員会・講演会* ¹ 「お砂糖と上手に付き合う心得、 ご自身や子ども達の健康のために」		
3	7 月 第 2 回学校保健研修会* ² 「伝える力を磨く ～職員との連携を深めるアサーティブ・コミュニケーション～」		
4	11 月 第 3 回学校保健研修会* ³		
5	11 月 地区学校保健研究大会* ⁴		
6			

3 研修の様子

2 市 3 町の駿東地区では、4 つの支部に分かれ、それぞれの研修を進めている。地区全体の研修会では、養護教諭の専門性を高める場とし、講演会や班別研修、情報交換などを行っている。

沼 津 地 区

- 1 研修会回数 年間 13 回実施
- 2 研修テーマ 生涯を通じて健康な生活を送るための学校保健
～子供たちのウェルビーイングを高める養護教諭の取組～

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
1	4・7・12・3 月 全体研修	沼津教育振興会 沼津市学校保健会	* ¹ 東都大学 沼津ヒューマンケア学部 看護学科 准教授 児島 佳子 氏
2	6 月 校区研修		
3	7・8・1・2 月 テーマ別グループ研修		
4	7 月 夏季講演会* ¹ 「子どもの救急時の対応力強化のために」		
5	8・9・11 月 二部合同研修会		

3 研修の様子

昨年度より 2 年計画で、ウェルビーイングの視点を持ち、「保健教育」「メンタルヘルス」「ICT の活用」「救急処置・救急体制」「災害時の養護教諭の活動」の 5 グループに分かれて研修を深めた。二部合同研修会は、学校給食部、校医部、保健主事部と連携を図りながら実施している。

富士地区

1 研修会回数 年間8回実施

2 研修テーマ 生涯にわたり 心豊かで健やかに生きる子

～子供の健康課題をみとり、児童生徒が自分ごととして実践できるためのアプローチの工夫～

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
1	5月 全体研修（組織・計画）	富士市教育研究推進会	* ¹ 市内理学療法士
2	7月 講演会・保健主事合同研修* ¹		
3	講演会* ²		
4	8月 班別・応急普及員更新講習	富士市学校保健会	* ² 静岡大学教育学部 学部長 鎌塚 優子 氏
5	11月 一斉授業研究会		
6	12月 班別研修		
7	1月 班別研修		
8	3月 全体研修（反省・次年度指針）		

3 研修の様子

静岡県教育育成指標に基づき、班編成を行い、研修を進めている。今年度は、外部講師の招聘や実践事例集から研修を深める。また、今までの実践や成果をまとめ、他の班へ伝えることで相互に学び、目指す子供の姿に近づけるような支援ができるよう取り組んでいく。

富士宮地区

1 研修会回数 年間11回実施

2 研修テーマ しなやかでたくましい心と体を育む健康教育

No.	研 修 内 容		主 催 者	備 考（講師・運営）
1	4・12・2月	学校医等養護教諭合同研修会	富士宮市教育委員会	* ¹ MOA奥熱海クリニック 院長 佐久間哲也 氏
2	6月	学校保健会総会・講演会* ¹ 「こどものSOSへの対処法～校内対応編・多機関対応編～」		
3	6・11月	市内全体研修会	富士宮市学校保健会	
4	7・8・10・12・1月	健康教育研修会		

3 研修の様子

子供たちが自他の命を大切にし、人と関わりながら自分の課題に気付き、主体的に健康づくりに取り組むことができる姿を目指している。課題別班研修を通して、実践を継続・発展させるとともに、組織的な健康教育の推進を目指し研修を深めている。

静岡地区

1 研修会回数 市全体会・年間3回実施（他に支部ごと8～9回実施）

2 研修テーマ 生きる力と豊かな心を育む健康教育をめざして

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
1	8月 第1回市養護教諭研修会* ¹ 「養護実践力向上のための理論と技術」	静岡市教育センター	* ¹ 国際救急法研究所 理事長 宇田川規夫 氏
	10月 第1回市養護教諭研究会全体研修会 「救急処置について」* ²		
3	第2回市養護教諭研修会 「健康教育指導者養成研修伝達講習」	静岡市養護教諭研究会	* ² 静岡大学教育学部 学部長 鎌塚 優子 氏
4	3月 第2回市養護教諭研究会全体研修会 講義と支部研修報告		

3 研修の様子

各支部や個人等で研修に取り組み、各学校において実践を積み重ねている。学校保健を担う養護教諭として、学校経営にどのように参画していくかを念頭においた上で、健康教育や保健管理及び組織活動の推進について研修を深めていきたい。

志 太 地 区

- 1 研修会回数 年間3回実施
- 2 研修テーマ 心身ともに健康で、活力に満ちた児童生徒の育成
～子どもの「こころとからだ」の健やかな成長を目指して～

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
1,2	7・12月 養護教諭研究会研修会 学校保健会研修会* ¹ 「最近の子どもたちの様子と病院と学校とのつながり」	志太地区養護教諭研究会	* ¹ 静岡県立こども病院 精神保健福祉士 深澤 美里 氏 * ² 子どもの虐待防止センター 山口 有紗 氏
3	8月 志太教育研究集会* ² 「ウェルビーイングの向上をめざした健康教育 ～自分で考え行動し、自他の健康を守る子の育成～」	志太地区学校保健会 志太地区教育協議会	

3 研修の様子

志太地区は、3市合同の研修会を年3回実施している。今年度は、現代的健康課題を抱える子供たちへの支援について、学校保健関係者が理解を深めて学校での支援や対応について学ぶために、講演会と班別研修会を実施する。

榛 原 地 区

- 1 研修会回数 年間4回実施
- 2 研修テーマ しなやかに、人とかかわりながら前向きに生きていこうとする子をめざして
～小小連携・小中連携～

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
1	6月 第1回全体研修会 研修計画、グループ研修、執務研修	榛原地区養護教諭研究会 榛原地区教育協会学校保健	* ¹ カレッジまどか 学長 國分 聡子 氏
2	10月 学校保健部研修会 「思春期における性教育の実践」* ¹		
3	11月 第2回全体研修会 義務教育学校見学、グループ研修		
4	2月 第3回全体研修会 研修報告、グループ研修、執務研修		

3 研修の様子

経験や校種の違いに関係なく、「何でも聞ける仲間がいる」という安心感の中で研修を進めている。今年度も「養護教諭のレベルアップ」を目指し、中学校区の実態に合わせた小小連携・小中連携しながら、児童生徒のレジリエンスを育てる取組を行っていく。

小 笠 地 区

- 1 研修会回数 年間3回実施
- 2 研修テーマ ・健康教育推進者としての力量を高め、専門性、独自性を活かした資質の向上
・小笠地区養護教諭研究会の組織の活性化

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
1	6月 第1回全体研修会 研修計画・担当校長講話* ¹	小笠地区養護教諭研究会 小笠教育研究協会 学校保健研究部	* ¹ 小笠地区養護教諭研究会 担当校長 松本美千代 氏 * ² 中東遠総合医療センター 医師 古澤 由梨 氏 * ² 独立行政法人日本スポーツ 振興センター講習会
2	8月 第2回全体研修会 「育成と連携」* ² ～養護教諭の資質向上を目指す～		
3	11月 学校保健研究大会 「自分の身体と主体的に向き合う子どもの育成」 ～切れ目のない健康教育を進めるための効果的な連携の在り方～		

3 研修の様子

「育成と連携」を努力点とし、「個と組織の育成」「個と組織の連携」を目指して研修を進めている。グループトークを多く取り入れ、会員相互に連携し情報共有しながら、養護教諭としての資質向上に努めていきたい。

磐 周 地 区

- 1 研修会回数 年間3回実施（他に市町ごとの研修会4～5回実施）
- 2 研修テーマ 「生涯を通して、自ら生きる力を育てる健康教育」
～心身ともに健康な生活を送るためのヘルスリテラシーの育成～

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
1	6月 第1回養護教諭研修会 事業計画・各校区の研修計画発表	磐周学校保健会	* ¹ 講師 こども若者家庭センター （磐田市・袋井市）
2	10月 第2回養護教諭研修会 「不登校・心の支援・保護者支援に関する研修」* ¹		
3	3月 第3回養護教諭研修会 「ヘルスリテラシーに関する研修」		

3 研修の様子

中学校区研修やグループ研修、全体研修での講師からの指導助言は、ヘルスリテラシーの理解を深める上でとても有効であり、取組に活かすことができている。効果的であった実践例を共有し、養護教諭の実践力向上と中学校区での取組の充実につなげていきたい。

湖 西 地 区

- 1 研修会回数 年間9回実施
- 2 研修テーマ これからの学校保健の在り方

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
1	6・7・8・11月 養護教諭研修会	湖西市教育会	* ¹ 学校薬剤師 加藤賢一郎 氏
2	6月 湖西市学校保健会総会・講演会* ¹ 「薬の正しい使い方～オーバードーズの危険性について～」		
3	7月 保健主事・養護教諭合同研修会* ² 「ウェルビーイングの視点を生かした子どもたちとの関わり方」	湖西市学校保健会	* ² ウェルビーイング心理教育 アカデミー認定講師 内野千珠子 氏
4	1月 学校保健研修会		
5	2月 養護教諭研修会		

3 研修の様子

研修テーマに基づき「心身の健康に関する知識・技能」「自己有用感・自己肯定感」「自ら意思決定・行動選択する力」「他者と関わる力」の4つの力をはぐくむ視点をもち、集団・個別指導の実践を積んでいる。また、市内で作成したマニュアルにより執務の効率化を図り、多様化する学校保健の課題解決に取り組んでいる。

浜 松 地 区

- 1 研修会回数 年間12回実施
- 2 研修テーマ (1) すこやかな心と体 命を大切にできる子の育成
(2) 養護教諭の資質向上を目指して

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
1	4月 教育研究協議会	浜松市教育研究会	* ¹ みんなの心の相談室"cont-e" 公認心理師・臨床心理士 桐生 大輔 氏
2	5・8・10月 養護教諭部ブロック別研修会	浜松市教育委員会	* ² 浜松市リハビリテーション病院 スポーツ医学センター長医師 尾藤 晴彦 氏
3	5・8・11月 保健主事養護教諭合同研修会		
4	6・10・2月 養護教諭研修会	浜松市学校保健会	理学療法士 大木 雅智 氏 * ³ 原総合法律事務所 弁護士 原 道也 氏
5	7月 養護教諭部研修会（分科会）* ¹ * ² * ³		

3 研修の様子

養護教諭の資質・能力を高めるために、職務を多方面から見直し、若手育成を意識した研修を進めている。年3回のブロック別研修会では、ブロックごとに研修内容を決め、日々の職務に必要な情報を共有しながら、研修に取り組んでいる。